

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート  新規  継続  
( 事業 委託 補助用 )

## I 基本事項

整理番号 121

事業名	らん・らんバス三原線運行委託事業		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	市長公室			款	総務費・2款
電話	0799 - 43 - 5002			項	総務管理費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	まちづくり推進費・6目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり_元気あふれ_住んで快適なまちづくり_			
	まちづくりの目標	子どもを産みたい_育てたいまち(子育て)			
	施策目標	すべての人が安心してまちに出て、日常生活や地域での交流が行える環境をつくる			
該当する事業について「 」を選択		施策的事业	業務委託	負担金補助	

## II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に) 三原地域住民。		対象人数(人) 16,336			
	目的	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 地域住民の生活交通である路線バス運行を確保することにより、市民に安全で安定した交通手段を提供する。					
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 陸の港を拠点に三原地域を中心に2つのルートを組み、運行している。18年度の利用者は53人/日。					
	背景、委託根拠	(どのような現状・課題・要望があったか、また委託に至った根拠、他の自治体の動向) 平成18年4月3日より公共交通の空白地を中心に運行している。 なお、18年度、19年度の2年間は試験運行期間と位置づけている。					
	事業実施主体	<input type="checkbox"/> 市直営	<input checked="" type="checkbox"/> 民間・その他	( 淡路交通株 )			
	事業期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度	~	平成	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
	合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input checked="" type="checkbox"/> 新市から					

## Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	1日の乗車人数			指標単位 人	
	指標説明 (指標算出方法等)	乗車人数により、当該事業の利用効率などが計れる。				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値	-	40	60	65	
	実績値	-	53	53		
	達成度 (%)	-	132.5	88.3	-	
目標値設定の考え方	高齢化の進行と、利便性を高めることにより利用者増が見込まれる。					
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	1日の乗車人数			指標単位 人	
	指標説明 (指標算出方法等)	乗車人数により、当該事業の利用効率などが計れる。				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値	-	40	60	65	
	実績値	-	53	53		
	達成度 (%)	-	132.5	88.3	-	
目標値設定の考え方	高齢化の進行と、利便性を高めることにより利用者増が見込まれる。					
資源配分 (インプット)	直接事業費 (千円)		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	委託料			20,145	17,590	23,200
	財源 (千円)					
	国			8,177	7,152	
	県					1,588
	起債					
	その他			3,530	3,600	4,577
	一般財源[A]		0	8,438	6,838	17,035
	人件費(正規職員)[B] (千円)		0	150	151	151
	平均人件費(1日当り)		30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)			5	5	5
	事業量2(事業に要した人数)			1	1	1
年間経費([A]+[B])		0	8,588	6,989	17,186	
「目的」対象人数1人当り経費 (千円)		0.0	0.5	0.4	1.1	
受益者人数(53)1人当り経費(千円)		0.0	162.0	131.9	324.3	
経費に関する補足説明						

## IV Check (事業の自己評価・一次評価)

達成度	活動結果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)	
		%	-	132.5	88.3	-		
(アウトプットの達成度分析、問題点・課題などを記入。) 目標値以上の実績もあり、地域住民には無くてはならない公共交通である。							4	
有効性	成果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)	
	成果向上率	%	-	-	0.0	-		
	(事業実施による目的に対する有効性分析、問題点・課題などを記入。) 成果があり公共性が高い。							4
効率性	活動実績1単位当り経費	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)	
	効率性増減率	%	-	-	18.6	-		
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 適正な費用であり便数の削減をしない限り運行経費の削減は見込めない。 試験運行中であるが、ルート等の見直しにより、より効率性を高める必要がある。							4
必要性	公共性の高低	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低					自己評価 (5点評価)	
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 地域住民にとっては、唯一の公共交通機関であり、福祉性も強く、その必要性は高い。							5
総合評価	自己評価をふまえた現状分析		運行開始から1年が経過し、少しずつではあるが乗車人数も増えつつある。しかしながら交通空白地域からの要望が多く、今後もルート変更計画などの見直しも必要である。					<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>評価グラフ</p> </div>

## V Action&amp;Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し
	<p>地域住民にとっては、唯一の公共交通機関であり、交通空白地域からの要望も多いため、今後、効率性も勘案しつつ、利便性の向上のための見直しをしていく必要がある。</p>	同左
(現状維持以外の改善方法)	<p>現在運行しているコミバス3路線のルート・時刻表の見直しを行い、乗り継ぎ等により、その利便性と効率性を高める。</p>	同左
改善によって期待される効果	<p>効果(アウトカム)面</p> <p>利便性を高めることにより乗車率の向上を図る。</p>	<p>効果(アウトカム)面</p> <p>同左</p>
	<p>コスト面</p> <p>運賃収入の増により、市の支出負担が減少する。</p>	<p>コスト面</p> <p>同左</p>
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>交通弱者である高齢者の通院、買物や公共施設等へのアクセスが大変困難となり、影響は大である。</p>	